



2 ピンクリボンスマイルウォーク（1）

*詳細は、「ピンクリボンスマイルウォーク報告書」をご参照ください。

ピンクリボンバッジやバンダナなどのシンボルグッズを身につけて街を歩き、行きかう人々にピンクリボンをアピールするピンクリボンスマイルウォーク。参加者ひとりひとりが主役となってピンクリボン運動の輪を広げ、参加することで自己意識を高める啓発ウォークイベントです。今年は、東京で約5,300人、神戸で約3,500人、仙台で約2,400人が参加しました。また、昨年に引き続き、参加者に無料検診（事前申込・応募多数により抽選）を行いました。会場では、ゲストと専門医によるトークショーなどのサブイベントも実施。また、協賛企業などによる多種多様のブースに、参加者が多数つめかけていました。アンケートによると、このイベントに参加した後、検診に受けに行った人が約4割で、予定している人が約2.5割（3大会平均）で、ピンクリボンを伝えるだけでなく、検診への一歩につながるイベントになっていることがわかりました。

① 全体概要

（1）東京・神戸大会

- 主 催：朝日新聞社、テレビ朝日（東京大会）、朝日放送（神戸大会）
- 後 援：厚生労働省、（財）日本対がん協会「乳がんをなくす ほほえみ基金」、（社）日本医師会、（社）日本看護協会、（社）日本ウオーキング協会、（株）BS朝日／東京都（東京大会）／兵庫県、神戸市、神戸商工会議所（神戸大会）
- 主 管：NPO・東京都ウオーキング協会（東京大会）／神戸ウオーキング協会（神戸大会）
- 支 援：三井不動産（株）、森ビル（株）、三菱地所（株）、大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会、NPO法人大丸有エリアマネジメント協会、（振）原宿表参道櫺会、有楽町マリオン、（社）日本音楽事業者協会、NPO法人乳房健康研究会、あけぼの会 ■提 携：ヤフー（株）
- 特別協賛：富士フィルム（株） ■協 賛：（株）シャルレ、（株）東芝
- 協 力：セコム損害保険（株）、（株）ニューバランスジャパン、東日本旅客鉄道（株）

（2）仙台大会

- 主 催：朝日新聞社、東日本放送、河北新報社
- 後 援：厚生労働省、（財）日本対がん協会「乳がんをなくす ほほえみ基金」、（社）日本医師会、（社）日本看護協会、（社）日本ウオーキング協会 宮城県、仙台市、仙台商工会議所、（株）BS朝日
- 主 管：宮城県ウオーキング協会 ■支援：ピンクリボンフェスティバル in 仙台推進委員会（仙台市、宮城県、仙台商工会議所、宮城県対がん協会、（財）仙台観光コンベンション協会、NPO法人キューオーエル、朝日ウィル、東北大学病院 乳腺・内分泌外科、（財）せんだい男女共同参画財団、東日本放送、河北新報社、朝日新聞仙台総局、仙台女子プロレス）
- 特別協賛：コセキ（株）、エイボン・プロダクツ（株） ■協賛：（株）シャルレ ■協力：富士フィルムメディカル（株）、（株）東芝
- 提 供：（株）ニューバランス ジャパン ■提 携：ヤフー（株）



2 ピンクリボンスマイルウォーク (2-①)

② 東京大会

今年5回目となる東京大会は、会場を六本木ヒルズから東京ミッドタウンに移して開催しました。天候にも恵まれ、約5,300人が参加し、東京ミッドタウンの芝地は参加者で埋めつくされました。また、今年は東海大学健康科学部(有志)の学生がボランティアスタッフとして受け付けや誘導をサポート。11キロコースでは、大丸有エリアマネジメント協会の支援で丸ビル・仲通りに、また6キロコースは富士フィルムの支援で富士フィルム西麻布ビル前に給水ポイントを設置してもらいました。会場が芝地となったため、大勢の人がゴール後もトークショーやコンサートをじっくりと楽しんでいただけたことができました。

【日時】2007年10月7日(日) 【会場】東京ミッドタウン 芝地 【参加者数】約5300人

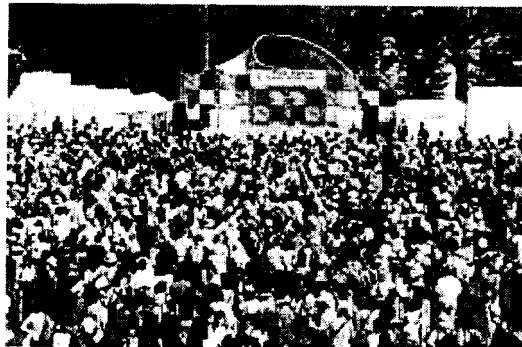
①11kmコース(10:30スタート) ②6km(11:30スタート)※それぞれ受付は1時間前から、出発式は30分前。

【ゲスト】荻原次晴さん、小谷実可子さん、大野靖之さん、大原まゆさん ▽専門医:遠藤登紀子先生(国立病院機構名古屋医療センター放射線科部長)

【サブイベント】▽ミニライブ(大野靖之さん) ▽トークショー(ゲストと専門医) ▽デザイン大賞・表彰式 ▽KIMIKOさんによるウォーキング教室

▽オンワードスカイラクス チアリーディングによる演技

【給水ポイント】①丸ビル敷地内(11kmコース)②富士フィルム西麻布ビル前(6kmコース)



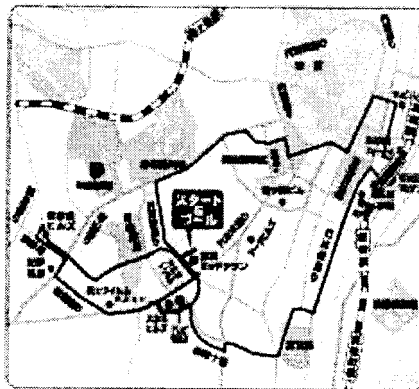
セッケンをつけた
わんちゃん



トークショーの様子↑

富士フィルム西麻布ビル前 給水所↓

コース図



11kmコース ——— 丸ビル敷地内(11kmコース)
6kmコース ——— 富士フィルム西麻布ビル前(6kmコース)



↑丸の内・仲通り
給水ポイントのピン
クリボンツリー



2 ピンクリボンスマイルウォーク（2-②）

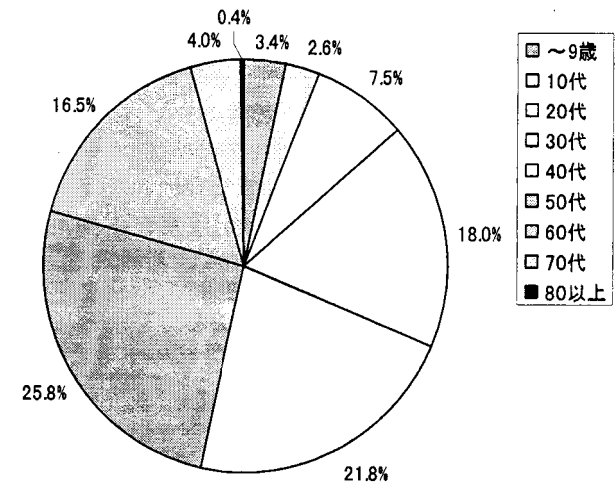
東京大会の参加者は、男性が17%、女性が83%と、女性が大半を占めています。年代は50代が最も多く、40代、30代と続きます。参加動機は「ピンクリボンに関心あり」が最も多い理由で、「友人・知人の誘い」が続きます。また全体の55.7%が初参加でした。

乳がん検診に関しては、「定期的に専門機関受診」が昨年は7%台でしたが、今年は29.1%で大幅に増えていました。「これまでに受診したことがある」は昨年が20%でしたが、今年は33.6%となっていました。あわせて62.7%の人が検診経験がありました。

また、昨年のウォーク参加後「検診を受けにいった」が39.2%、「近々検診予定」が26.6%となっており、ウォークが検診への一歩を踏み出すきっかけになっている可能性をうかがわせました。

一方、検診の必要性は感じたが何もしていない、もしくは検診に行きたくないという人の主な理由は、「忙しい」「機会がない」というものと、「怖い」「恥ずかしい」というものが約半々でした。（必要を感じない理由は、男性だから、子供だからというものでした）※詳細はウォーク報告書をご参照ください

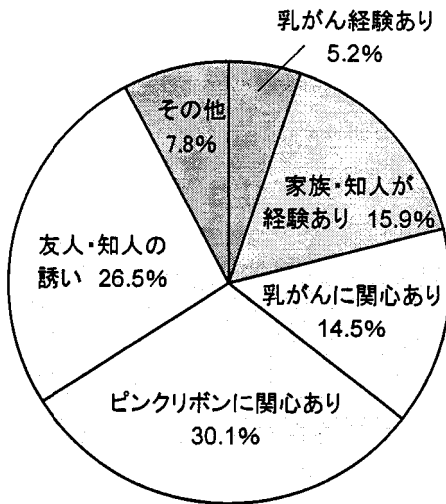
年齢層



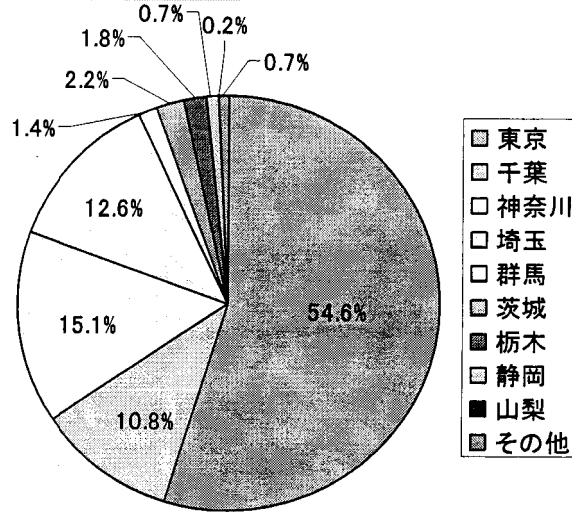
エントリー内訳

11km	2,300
6km	3,000
合計	5,300

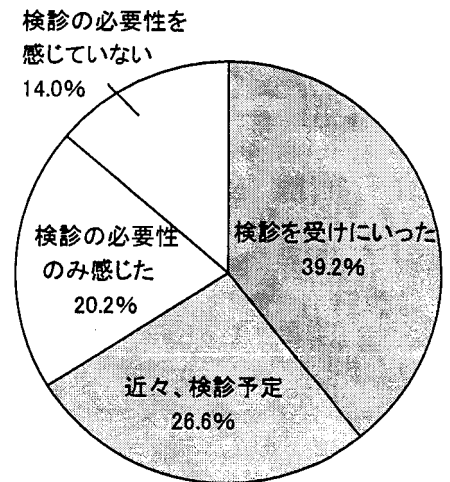
参加動機



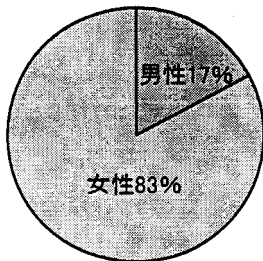
居住地



昨年ウォーク後の検診の有無



男女別エントリー割合





2 ピンクリボンスマイルウォーク (3-①)

④ 仙台大会

今年2回目の開催となった仙台大会は、約2,400人が参加しました。今年は、地元プロスポーツ3チーム(東北ゴールデンエンジェルス、ベガルタチアリーダーズ、89ERSチアーズ)のチアーが出発式などで華やかな演技を披露し、送迎もお手伝いいただきました。また、仙台女子プロレスの選手が体操指導し、会場も沸きました。昨年に引き続き、市長も参加、ご挨拶を頂ました。ピンク色の笹かまぼこも登場。500本があっという間に売り切れる人気となりました。また、今年は「エイボンピンクリボンコネクションツアー」の一環として、マレーシアからタム・ミー・ワーさんが参加。グローバルピンクリボンがタミーさんから仙台市在住の亀田陽子さんに手渡された。また、昨年同様、「仙台推進委員会(※別紙参照)のメンバーがボランティアスタッフも務めました。今年も仙台ならではの大会となりました。

【日時】2007年10月13日(土)【会場】 勾当台公園市民広場前

①10kmコース/10:30スタート②5kmコース/11:30スタート ※それぞれ受付は1時間前から、出発式は30分前。

【ゲスト】荻原次晴さん、小谷実可子さん、宮崎ますみさん、大野靖之さん、中村ますみさん

▽専門医:島田菜穂子先生(東京ミッドタウンクリニック女性医療推進プロジェクトチームプロジェクトリーダー)

【サブイベント】▽ミニライブ&トーク(中村ますみさん)▽トークショー(ゲストと専門医)▽ミニライブ(大野靖之さん)

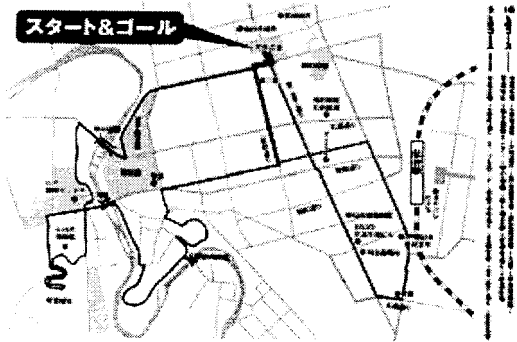
東北ゴールデンエンジェルス、ベガルタチアリーダーズ、89ERSチアーズによる演技



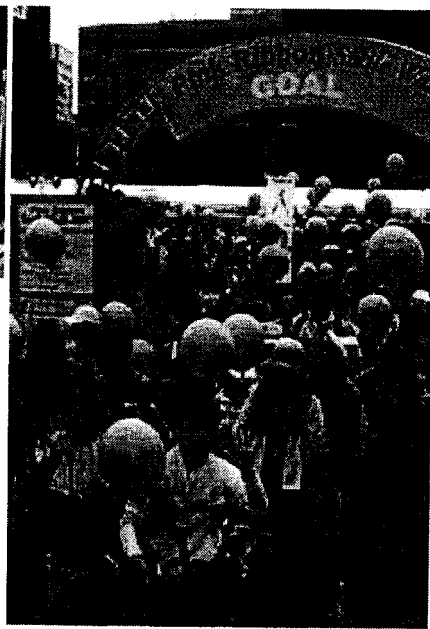
手を握る荻原さん ←



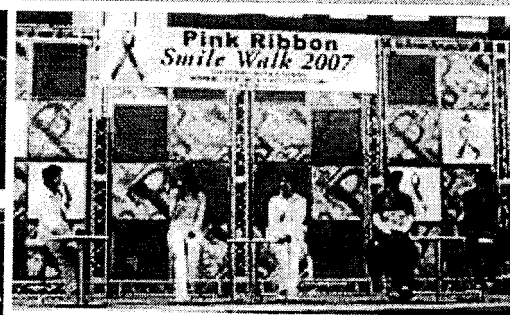
スタート&ゴール



コース図



笑顔でスタートした参加者



トークショーの様子



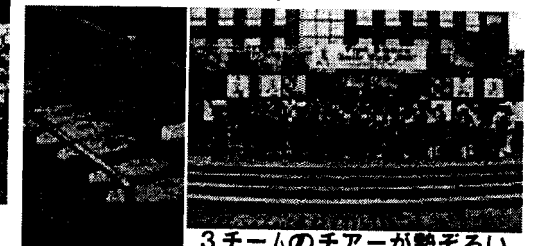
中村さんコンサート



仙台女子プロレスの選手



グローバルピンクリボン贈呈



3チームのチアーが勢ぞろい